



市立病院だより

ほほえみ

発行 越谷市立病院
 発行人 院長 丸木 親
 編集 院内情報誌編纂委員会
 連絡先 〒343-8577
 越谷市東越谷10-32
 電話 048-965-2221(代)
 F A X 048-965-3019
 発行月 令和4年(2022年)7月
 (No.52)

認知症と自動車運転

神経内科部長

なかむら しんいちろう
 中村 真一郎

令和4年5月13日に道路交通法が改正されました。認知症と自動車運転に関しての変更がありますので「〇×クイズ」で勉強しましょう。

【〇×クイズ】

(第1問)認知機能検査の結果、免許更新がで
 きて認知症診断を受けるよう指示された。病
 院では**運転技能について精密検査を受けること**
 になる。

【答えと解説】

(第1問)正解は×

診断命令の趣旨は認知症かどうかの判断で
 す。認知症の疑いありの場合、病院では認知症
 かどうかの判定をしますが、運転技能について
 の検査等はいりません。自動車運転は運転技
 能以外にも大切なことがあります。例えば事
 故時の救護義務、報告義務などです。

そういうわけで運転がうまくても認知症と
 診断されれば更新できないのです。

【〇×クイズ】

(第2問)高齢運転者の増加に伴って、**高齢運
 転者の死亡事故が増えている。**

【答えと解説】

(第2問)正解は×

内閣府によると高齢運転者が増える一方、
 高齢運転者による死亡事故数は横ばいです。
 免許人口10万人あたりの死亡事故件数ではむ
 しろ減少傾向です。一方、事故原因は75歳以
 上と75歳未満で違いがあります。75歳以上で
 はペダル踏み間違いなどの操作不適が原因の
 約3分の1ですが、75歳未満では約6分の1
 です。

そこで改正道路交通法ではサポカー限定免
 許が新設されます。サポカー限定免許というの
 は自動ブレーキ機能など支援機能が搭載され
 た自動車(サポカー)に限って運転可能な限定
 免許です。改正法では75歳以上で一定の違反
 歴があると更新の時に運転技能検査で合格し
 ない場合は「F」(Functional Limitation)と
 なります。

そういった不合格者の救済策としてサポカー
 限定免許が作られました。



【〇×クイズ】

(第3問)病院で認知症と診断され投薬も開
 始された。このとき医師から自動車運転不
 可の説明があった。その直後に免許センター
 で認知機能テストも受けて更新できた。この
場合運転しても構わない。

【答えと解説】

(第3問)正解は×

道路交通法には運転不可となる欠格事由
 があります。認知症はこのうち相対的欠格
 事由に含まれています。相対的というのは条
 件を満たせば運転可能というものなので
 が、条文にはその条件についての記載はなく
 一律「拒否または取消とする」となっていま
 す。

実際、免許更新の場合には病気についての
 質問票が渡されます。このとき認知症と記
 載すれば更新できません。記載せずに更新
 してしまった場合は「虚偽記載」となるおそ
 れがあります。虚偽記載には罰則もありま
 すので十分注意しましょう。

認知症のケアについて

認知症看護認定看護師

しのぎ えつこ
篠崎 越子

令和7年に日本の高齢者人口は3500万人を超え、人口の約3割が高齢者になると言われています。このとき、認知症を患っている人は750万人、高齢者のうち何と5人に1人が認知症と見込まれています。※

しかしながら、現時点では完治・根治させる治療法は見つかっていません。確たる予防法もありません。そのため、地域の中での認知症者にとのように対応していけばよいか、ご家族の中でも試行錯誤を重ねているのが現状かと思えます。

認知症の症状は大きく2つに分けられます。中核症状と行動・心理症状です。中核症状は、脳の機能が低下することにより、過去のことを思い出せなかったり、最近の出来事を覚えられなかったりする症状のことです。このほか、時間や場所、人間関係などを把握する能力、理解力・判断力、実行力などの面で起きる障害も中核症状に分類されます。



さらに、中核症状により認知症者は様々なストレスにさらされます。長年行ってきた家事が出来なくなった、相手が誰なのか思い出せない……。自信や尊厳が損なわれ、不安・抑うつ、妄想・幻覚、興奮・暴力、徘徊といった症状が現れます。これを行動・心理症状（BPSD）といいます。

中核症状、行動・心理症状ともに出現の仕方は人それぞれです。行動・心理症状は周囲の対応や環境などの影響を強く受けると言われています。

認知症ケアの基本は「その人らしさを尊重すること」です。随分当たり前なことを言うなど感じる方もいるかと思えます。

しかし、認知症者はコミュニケーションの困難さがある中で、認知症者に聞いても分からないという思い込みから当事者の声を聴かず、周りの声やケア者の一方的な視点で支援に当たってしまったのではないのでしょうか。

本来の「その人らしき」が大切にされず、行動・心理症状のみに目を向けると、認知症者は手が掛かり大変だ、他の人に迷惑がかかるなど、誤解や偏見が生まれてしまいがちです。



当院のような急性期病院では、身体疾患のために検査や治療を受ける認知症高齢者が急速に増えています。

しかし、家族など受け入れる側の対応力は必ずしも万全とは言えず、行動・心理症状の増悪や身体拘束の実施などの悪循環が起きています。

また、当院では令和3年度より認知症ケア委員会を立ち上げ活動しています。「認知症になったとしても、自分自身が脅かされることなく適切な治療を受け、速やかに元の居場所に戻る」という基本的な願いを実現するため、日々の活動に取り組んでいます。

認知症者の医療・ケアに共に携わる多くの職種、何より認知症者御本人やご家族と手を携え実現する方法を一緒に考えていきたいと思えますので、どうぞよろしく願います。

※厚生労働省平成28年版高齢者白書「高齢者の健康」より



認知症診断専門外来の 診察予約について

医事課副課長

やまかわ ようじろう
山川 洋次郎

令和4年4月1日から開始された認知症診断専門外来を受診いただくには、「病診連携予約」による申込みが必要です。病診連携予約を行っていない方は受診いただけませんのでご注意ください。

認知症診断専門外来の対象となる患者様は、主に①運転免許更新の際に認知症診断命令を受けた方、②問題行動で精神科指定医のいる医療機関を受診する必要があるが、器質疾患除外目的で事前検査を要する方、③既に認知症の診断を受け経過観察中だが、予想される自然歴と異なる症状変化が生じた方等となっております。

予約枠は毎月第1金曜日の午前中4人分のみ、予約申込みの期限は希望日の前の火曜日（当院が休診日の場合はその直前の開院日）となっております。受診の機会が限られていますので、余裕をもって早めの予約をお薦めします。

病診連携予約について

「病診連携予約」とは、かかりつけ医を通じてご予約いただく方法です。かかりつけ医から患者様に紹介状を出してもらい、患者様の情報の一部を当院に事前提供いただくことで、診療の円滑化と充実を図るものです。

当院での初診のご予約は、全ての診療科において、このかかりつけ医を通じた病診連携予約によりお申し込みいただく必要があります。患者様ご本人やそのご家族等からの直接のお申込みは受け付けておりません。

また、初診や再診に関わらず、大部分の診療科は午前8時30分から午前11時までにお受けいただければ予約なしで受診いただけますが、診療科によっては休診日や予約患者様のみ診察している日があり、予約のない患者様は来院されても受診いただけないことがあります。病診連携予約をしていただくことで円滑に受診いただけますので、認知症診断専門外来に限らず当院へ紹介されることになった際は、病診連携予約を希望する旨をかかりつけ医にお申し出ください。



◆ 認知症診断専門外来について ◆

診察内容や注意事項などの詳細については、当院ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。



QRコード
はこちら↓



★ 編集後記 ★

院内情報誌編集委員長

おぼざわ はなこ
尾羽澤 英子

これから夏本番を迎える7月現在、皆さんいかがお過ごしですか？

新型コロナウイルスの影響で2年以上自粛生活が続き、さぞストレスがたまっていたことでしょう。

さらにはウクライナでは戦争状態となり、毎日不条理に苦しまされている人々の様子を見るにつけ、やり場のないストレスがいっぱいたまっていましたね。

新型コロナウイルスも戦争も簡単な解決策はありませんが、それでも私たちは心と体の健康を維持し、毎日を健やかに過ごしていく努力をやめてはいけません。

私たちの毎日が一人一人集まって世の中を動かし、世界を変える力があると信じています。暑い夏を乗り切りましょう。